市民活動支援センター

愛称：はんだまちづくりひろば

市民活動情報

かつどん

市民“活”動やボランティア“活”動をはじめとするさまざまな社会貢献“活”動が、“どん”どん広がって、半田市がいきいきと暮らしやすいまちになるよう、市内で行われている取組を紹介します。みなさんも無理をせず身近なできることからはじめてみませんか。

市民活動・ボランティア活動に関する相談窓口

【相談窓口】市民交流センター（クラシティ３階）
【開所時間】月曜日～土曜日　９時～17時15分
【休 館 日】毎月第４水曜日（祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日～1月4日）

☎32-3440
E-mail
machihiro@city.handa.lg.jp

取組紹介：【外国籍市民の防災意識向上】

【マンゴーベレン・プロジェクト×防災】

令和3年の11月から12月、外国籍市民の生活支援に取り組んでいる市民活動団体「マンゴーベレン・プロジェクト」が、災害時に外国籍市民が自らの命を守る行動をとることができるよう、行政や他の市民活動団体と協働して、全8回にわたる防災意識向上のプログラムを実施しました。

プログラムのスタートとなった講演会では、岡山県総社市の外国人防災リーダーによる「西日本豪雨の被災体験」が報告され、外国籍市民も支援する側になる必要性について理解を深める機会となりました。

▲防災マップで避難所を確認

また、防災に関する基礎知識や用語の学習を始め、半田災害支援ボランティアコーディネーターの会による家具転倒防止や非常持ち出し袋の準備等の「今すぐできる防災対策」などの防災講座や、フィールドワークとして、半田小学校から乙川東小学校まで歩く避難訓練も実施されました。外国籍市民にとって、災害時の備えで大切な点は、文化や風習の違いがあることを理解し、非常食も母国の缶詰やレトルト食品を準備するなど、自分にあった備えをする必要があるということでした。

▲防災倉庫の確認

マンゴーベレン・プロジェクトは今回の取組で、「外国籍市民も『支援される側』から『支援する側』になることの大切さを改めて感じ、支援する外国籍市民をより増やすため、今後も事業を継続していきたい」とのことでした。

※この事業は、令和3年度「半田市市民活動助成金」のチャレンジ部門の事業として、市民活動団体と市の防災交通課、市民協働課の協働で取組が行われました。